

環境再生型農業の実践による、土壌炭素への炭素貯留のメカニズムの 解明及びそのメカニズムを促進させる方法の解明

研究期間：2022年8月～2023年6月



地域環境科学部生産環境工学科 中島 亨 准教授
地域環境工学および農村計画学関連
✉tn206473@nodai.ac.jp

応用生物科学部農芸化学科 大島 宏行 助教
植物栄養学および土壌学関連
✉h3oshima@nodai.ac.jp

キーワード

- ・炭素貯留
- ・環境再生型農業
- ・気候変動
- ・土壌健康

研究の背景と目的

土壌炭素貯留を増加させるために効果的な農法を確立し、環境再生型農業として体系化する。

展開可能性（他領域・社会にどのようなインパクトを与えるか）

それを気候変動問題に対する解決策の一つとして位置づけ、広める事によって、気候変動の抑制や生態系の保全及び回復を実現すると共に、そのような環境価値を生産者に還元する仕組みを通じて、日本の農業界を活性化させる。

シーズの特徴

気候変動の緩和・
適応策
土壌炭素貯留
環境再生型農業

PR・マッチングに関する要望

関連情報（URL）
研究業績・研究室（URL）

団体：一般社団法人BLUE BALLOON

